

| | |
|----|----------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------|

| | | | | |
|----------------|----------------------|----|--------|----|
| ○事業所名 | ふぁみさぽこ慈眼寺 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年1月6日 ～ 令和7年1月31日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 60 | (回答者数) | 26 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年1月16日 ～ 令和7年2月1日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月1日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---------------------------------|
| 1 | 業務改善に向けた計画の実行 | 職員会議に於いて業務改善や療育内容の見直しを行い振り返りの時間を設けている。 | 明確な目標設定を行う。 職員研修の充実を図る。 |
| 2 | 職員の資質向上の為の取り組み | 社外研修への積極的な参加を行っている。 | 研修や勉強会などを通じ積極的に参加を促しながら取り組んでいく。 |
| 3 | 定期的なモニタリングの充実 | ご家族様との定期面談の実施を行っている。 | 関係機関も含めた連携及び、定期会議の開催を実施していく予定。 |

| | 事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | こどもが自己選択できるような支援の工夫や自己決定をする力を育てるための支援 | 個別支援計画に沿った支援を行うよう努めているが、より計画を意識した支援や活動の設定ができるとより良い支援ができと思われる。 | 将来に向けた療育の提供を行っている為、個別支援計画書の内容に沿った療育の提供ができるよう改善を図る。 |
| 2 | マニュアルをもとに災害発生を想定した訓練の実施 | 非常災害時の対応や日頃の定期訓練を行う際に、様々な状況を想定した訓練が必要。 | 災害関係のマニュアルは揃えている為、訓練計画の際に様々な場面や状況を設定していく。 |
| 3 | ヒヤリハットを共有し、再発防止に向けた方策についての検討。 | 環境設定や危険予測をすべての職員ができるようスキルアップが必要。 | ご利用者の特性を想定し、危険予測をする意識を高める。 (必要に応じてロールプレイングを行い防止に繋げる) |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ふぁみさぼこ慈眼寺 | | | | | 公表日 令和7年2月28日 | |
|---------|----|--|----|-----|---|--|---------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | ご利用者の発達状況や特性に合わせて環境整備を行っています。 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 加配加算も取得している為、より手厚い支援へ繋がるよう心掛けています。 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 必要に応じて視覚支援を掲示しながら見て分かる情報をより明確にし、配慮しています。 | 従たる事業所では室内に段差がある為、転倒などの防止をする為の見守りや配慮が必要です。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎日環境整備を行い、安心安全に受け入れができるよう整えています。 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 従たる事業所の方では、個別の部屋を使用しながら集中して活動へ参加ができる構造となっています。 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 毎月職員会議を設け、業務改善にかかる話し合いをもとに職員が主体となって取り組んでいます。 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎年自己評価表を配布し、ご意見やご要望なども併せて確認し把握に努めております。 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎月、職員面談を通じて意見などを把握する機会を設けて改善へ繋げております。 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | 令和7年2月の時点では、取り組んでおりません。 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 定期的に社外・社内研修の場を設け、資質向上や知識を深める為に計画しております。 | | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | ホームページへ支援プログラムの公表をしています。 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | モニタリング時期に、ご利用者へアセスメントを行い計画が立てられるよう、取り組んでいます。 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 職員の意見なども踏まえ、話し合いをした上で計画の策定をしています。 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 常日頃、情報収集がしやすいようにファイルにて保管しており、共有しております。 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | アプリでの管理や弊社指定のアセスメントツールを使用し、活用しております。 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 5領域に合わせた計画及び、支援を提供しております。 常日頃、ガイドラインに則ったサービス提供が設定できるよう、心掛けております。 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 毎月、担当制でプログラムを考案しサービス提供を行っています。 | | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|--|
| へ 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 曜日に合わせて幅広い活動を提供しており、5領域を含んだ活動内容を行っております。 | 将来像を見据えた活動内容を考案しておりますが、情報整理をする為の時間確保が今後も必要と感じています。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 集団活動や個別活動は毎週取り入れており、ご利用者の発達状況に合わせたプログラムを提供しております。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 毎日、朝礼や昼礼を行い支援内容の共有や役割分担を行っております。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 極力、その日にあった出来事などは全体で共有するようにしております。 | 送迎の戻り時間次第では、振り返りをする時間が限られている為、翌日に共有することがあります。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | アプリを通じて記録を残し、より良い療育へ繋がれるようにしております。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 個別支援計画書の更新時期に合わせて、モニタリングを行っております。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | 曜日に合わせて幅広い活動を提供しており、5領域を含んだ活動内容を行っております。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | | ○ | | 状況に応じて自己選択をして頂く場合もありますが、自己決定をする力を育てるための支援は行えていない為、改善を図ります。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 主に児童発達支援管理責任者が参画しております。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 特定のご利用者様に関して、連携体制を整えております。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 全てのご利用者が通学する学校と、必要に応じて連絡調整を行っております。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | ○ | | 書面上での情報共有は行っていますが、対面での情報共有や相互理解には至っておりません。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | | 令和7年2月現在、移行する方がいらっしゃらないですが、情報提供ができる体制は整えております。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | | ○ | | 機会は設けておりませんが、機会がありましたら研修や助言など受けていきます。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | | 令和7年2月現在、交流する機会は設けておりませんがいつでも対応ができる体制は整えております。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 案内通知を受けた際には、情報把握に努めておりますが日程が合わない場合は参加をしておりません。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | アプリを通じて情報発信をしたり、保護者面談を通じて共通理解を行っております。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ○ | | 令和7年2月現在ペアレントトレーニングは対応しておりませんが、研修の予定を検討中です。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | ご契約時やその他、説明が必要な場面で対応しております。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 事前にアセスメントを行い、意向を確認しております。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | ご契約時に個別支援計画書の内容を提示し、ご確認頂いております。 | |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 必要に応じて面談などを通じ、適切な助言及び支援を行っております。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 令和7年2月現在、保護者同士の交流は行っておりませんが計画は立てております。 令和6年度は保護者会の開催を行いました。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 迅速かつ適切に対応ができるよう、心掛けております。 貴重なご意見に合わせて丁寧に対応しております。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 毎月通信（お便り）を発行し、情報伝達に努めております。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 情報漏れのないよう、ファイル管理の徹底を行っております。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | ご家族様の家庭状況や状態に合わせて、丁寧に配慮しながら対応しております。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | | 令和7年2月現在に対応しておりませんが、企画ができる場合は地域との交流を図っていきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 毎年、マニュアルを最新にし事業所保管をしております。 訓練では主に地震や火災を中心とし、訓練を行っております。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 業務継続計画（BCP）を策定しており、定期的な訓練を実施しております。 | 救出に関する対応や訓練は、事前練習が必要なこともあり実施できておりません。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | ご契約時に基本情報を把握し、職員間での共有も行っております。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | アレルギーのあるご利用者は、アレルギー検査結果の提出なども含めご家族に都度、確認しております。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 担当者が安全計画の策定及び研修を実施し、事業所内で情報共有も行っております。 | 新入職員への周知が行き届いていないことがある為、必要な情報を伝達できる体制作りが必要です。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | 安全計画の策定は行っていますが、十分に周知ができていないため、周知方法を検討して参ります。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 口頭及び書面で共有し、再発防止や危険予測の向上へ努めております。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 虐待防止委員会が中心となり、委員会の開催や研修の実施など行っております。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 個別支援計画書へ反映し、ご理解を頂いた上でご利用して頂いております。 | |

| | | |
|--|----|-------------------|
| | 公表 | 保護者等からの事業所評価の集計結果 |
|--|----|-------------------|

| | | | | | | | | |
|--------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 事業所名 | | ふぁみさぼこ慈眼寺 | | | | | 公表日 令和7年2月28日 | |
| | | 利用児童数 60 | | | | | 回収数 26 | |
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
| 環 境 ・ 体 制 整 備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 19 | 4 | | 1 | ・落ち着いて宿題に取り組めるスペースがあると幸いです。 ・部屋の狭さを感じます。 | 規定を満たす広さとなっておりますが、集中して取り組める環境設定の工夫も考えながら対応して参ります。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 17 | 3 | | 4 | | 基準の人員と加配の人員を配置している為、配置数は適切となります。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 18 | 4 | | 2 | | バリアフリー化はされていませんが、子どもたちが安全に過ごせる環境となっており必要に応じて個室を使用しながら少人数で過ごせる環境もございます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 21 | 1 | | 2 | | 毎日環境整備を行った上で活動の準備なども行っております。子どもたちの視線に合わせた空間作りに努めています。 |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 24 | | | | 十分に理解し、不安を取り除いて下さっています。 | 成長発達へ繋がるよう今後も精一杯支援させていただきます。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 23 | 1 | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 24 | | | | モニタリング時に、たくさんお話ができて助かっています。 | 5領域に基づいた支援へ繋がるよう今後も一緒に考えながらお子様の成長を見守っていかれたらと思います。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 25 | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 24 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 21 | | | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 9 | 7 | 1 | 7 | | 交流する機会は設けておりませんが、近隣の施設で児童がいる事業所もある為、今後は交流も図れるよう計画を立てていきます。 |
| | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 24 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 24 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 20 | 2 | | 2 | | ペアレントトレーニングは現在行っておりませんが、研修会の実施を検討しています。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 24 | | | | ・活動の様子を文章と併せて写真で教えてもらえるので助かります。 ・悩んでいる時に助けて下さいます。 | 情報をより正確にお伝えができるよう今後も対応させていただきます。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 23 | 1 | | | ・対面で話すことができているので助言など受けられています。 ・いつも寄り添って下さっています。 | 相互理解を深めながらサポートができるよう今後も対応させていただきます。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 25 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 13 | 7 | | 4 | 兄弟で違う事業所を利用しており、多少不安な面もあります。 | ・定期的なイベントは毎週実施しており、子ども達同士で関わる機会がある際には交流も兼ねて対応して参ります。 ・保護者会の開催に関しましては、必要に応じて開催を検討して参ります。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 25 | | 1 | | ・タブレット学習を始めて欲しい。 ・素早い対応をいつもありがとうございます。 | タブレット学習に関して、現段階ではご希望のニーズが少ない為検討に至っておりませんが、将来を見据えてタブレット導入が必要な場合は検討して参ります。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 24 | 1 | | | 気持ちをしっかり聞いて下さいます。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|--|
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 23 | 1 | | 1 | 写真つきで活動が分かるので見るのが楽しみです。 | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 25 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 23 | 2 | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 24 | 2 | | | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 23 | | 1 | 1 | | 安全計画の策定を行っております。職員向けの研修を実施し、日頃の支援へ繋げております。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 24 | | | 1 | 少しのことでもお電話を頂いて有難いです。 | 様々なことに於いて相互理解を深められるよう今後も対応させていただきます。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 21 | 4 | | | 不安な時は悩みを聞いてもらい安心しています。 | 今後も安心・安全に過ごして頂けるよう対応して参ります。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 19 | 6 | | | ・とても楽しみにしています。 ・土曜日は様々な体験ができるので楽しみにしています。 | 今後も満足を頂ける支援の提供に努めて参ります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 24 | 2 | | | いつも悩んだ時には寄り添って不安を軽減してくれます。 | 今後も満足を頂ける支援の提供に努めて参ります。 |